

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【公開番号】特開2010-4899(P2010-4899A)

【公開日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-002

【出願番号】特願2008-163916(P2008-163916)

【国際特許分類】

A 4 7 B 97/00 (2006.01)

A 4 7 B 96/14 (2006.01)

【F I】

A 4 7 B 97/00 D

A 4 7 B 96/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月8日(2010.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

床面に平行な底板と、床面に垂直な背板支持板からなる L 型基板と背板からなり、背板支持板および背板には背板高さ調整固定手段を有し、上部に突っ張り金具を有する転倒防止壁面ラック。

【請求項 2】

床面に平行な底板と、前記床面に垂直な背板支持板からなる L 型基板と背板からなり、前記背板支持板および前記背板には背板高さ調整固定手段を有し、前記背板の上部に突っ張り金具を有し、前記底板を水平床面に設置し、前記突っ張り金具を用いて前記背板の上部と天井を固定することを特徴とする転倒防止壁面ラック。

【請求項 3】

床面に立設し、背板支持板を有する収納ボックスと、背板と、突っ張り金具とを備え、前記背板支持板および前記背板には背板高さ調整固定手段を有し、この背板高さ調整固定手段により前記背板は高さを調整されると共に、前記背板支持板に固定され、前記突っ張り金具を用いて前記背板の上部と天井を固定することを特徴とする転倒防止壁面ラック。

【請求項 4】

背板高さ調整手段として背板支持板および背板下部に高さ調節穴を設け、ボルトとナットで固定できる様にしたことを特徴とする請求項 1 ないし 3 の転倒防止壁面ラック。

【請求項 5】

背板支持板、底板からなる L 型基板に側板および天板を付してボックスとしたことを特徴とする請求項 1 ないし 4 の転倒防止壁面ラック。

【請求項 6】

背板部に棚板を固定する機能を備えることを特徴とする請求項 1 ないし 5 記載の転倒防止壁面ラック。

【請求項 7】

突っ張り金具と天井の間に天井受け板をはさんで固定することを特徴とする請求項 1 ないし 6 記載の転倒防止壁面ラック。

【請求項 8】

背板部に開口部を有する請求項 1 ないし 7 記載の転倒防止壁面ラック。